

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	生きがい、大切にしていることを設定することで患者の離床意欲向上につながったかを振り返る
研究責任者	聖隷浜松病院 看護部 C9 病棟 久岡 香奈
研究実施体制	聖隷浜松病院 看護部 C9 病棟 山本巳幸・二橋美津子
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2022 年 9 月 1 日
対象者	2021 年 11 月から 2022 年 3 月聖隷浜松病院脳卒中科または神経内科に入院した離床シート使用患者 9 例
研究の意義・目的	当病棟では 2017 年よりリハビリセラピストと看護師、患者がともに、同じ目標に向かって離床を行うことができるよう、患者の生きがいや離床への目標、大切にしている事などを記載した具体的活動計画を記した離床シートを作成し、導入しています。これまでの研究で離床シートによって看護師が離床促進させるケアを実施しようとする意欲が向上したことが明らかとなりました。しかし、実際に離床シートを使用した患者がリハビリセラピストや看護師と共に目標を立案したことによって、活動の意欲向上につながったのか、またその目標に沿った関わりができていたのかが明らかになっていません。そこでカルテから情報を抽出し、看護師やリハビリセラピストの離床への関わりは患者の活動の意欲につながったのかを考察し、離床シートの内容やスタッフの関わりの中に改善できる点を模索し、より良いリハビリにつなげます。
研究の方法	離床シートを導入した患者のカルテ内から、離床に対する患者の発言・行動についてデータ抽出します。カルテから収集した情報は研究以外には使用しません。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 C9 病棟 (氏名)久岡 香奈 TEL:053-474-2222(代表) 9:00～17:00 平日